

かなん タウンミーティング2014
～河南町の安全・安心 「消防広域化」～

石川地域（5月31日）

第2部 意見交換会（○住民の発言 ●行政の発言）

- 火災等の初動体制の強化は、必要である。また消防団や自主防災組織に関しては町が管理運営すること
のことで、国の方針に従い充実強化、支援をお願いします。
- 常備消防は富田林市に委託し、消防団や自主防災組織に関しては町が管理運営し、住民さんの安全
安心を守っていきます。

- 富田林市消防本部の救急件数は何件ですか。救急出動について、広域化になれば救急車の台数は増
えます。しかし、人口の多い富田林市への出動件数が多いと思いますので、河南町の住民に対して従
来通りのサービスは可能ですか。
- 昨年の富田林市消防本部の救急出動件数は、太子町と千早赤阪村を含めまして6466件です。救
急車の台数に関しましては、富田林市消防本部の管轄する人口は約15万人で6台が稼働すること
になります。他の人口約26万人の一部事務組合で6台、約27万人の市で6台、人口約17万人の
一部事務組合で5台の救急車稼働しておりますので、広域化後の富田林市消防本部としても可能である
と思います。

- 富田林市の消防費はいくらか。委託後の河南町の消防費は安くなるのか。
- 25年度の富田林市の当初予算は消防費全体では約11億4000万円、そのうち常備消防費は、
10億5700万円程度です。
富田林市には河南町にない手当があるため人件費は上がります。また、無線のデジタル化に関しま
しては、単独で整備しようとした場合、約2億2千万円が必要となりますが、委託後の河南町の負担
金は約6千万円と試算しています。

- 事前準備経費の退職手当相当額は河南町消防職員24人分ですか。
- 退職手当相当額は、9月30日に退職した時点での年数に応じた消防職員24人分です。

- 現在、河南町消防本部では24人の職員で、消防車と救急車を運用していますが、広域化後は20
名の職員で、消防隊3人と救急隊3人で運用すると思いますが、今後運用は河南分署であるのか、ま
たは富田林市がするのか。
- 広域化後は20人が配置され、消防隊3人と救急隊3人で運用されます。他の4人については本部
要員として総務課や予防課の配置となります。また、1市2町1村は同じ管轄となり富田林市が運用
します。